



北陸新幹線 長野新幹線運転所・飯山駅間において発生した 作業時間帯区間に列車が進入した事象に関する緊急申し入れ

6/19 新幹線統括本部へ提出!



申し入れ項目

1. 北陸新幹線長野新幹線運転所・飯山駅間に回第8881E列車が進入した事象に対する見解を明らかにすること。また、事象の経過ならびに背後要因に踏まえた原因究明を行うとともに具体的対策を講じること。
2. 安全な輸送を確保するために取るべきルールと実態が乖離している職場現実に対する考えを示すこと。また、鉄道の安全性の再確立のために、人間の注意力と感性、判断力を高められる「エキスパート」を育成し全職場に配置すること。

運転時間帯と作業時間帯の分離を

前提としていた新幹線輸送において、今回の事象は

"重大インシデント"と捉えるべきだ!



システムに依存することなく、専門技術と人・チームワークの融合を深めることが必要だ!
より安全性の高い新幹線輸送をつくりだすために、速やかな団体交渉開催を求める!

申第 39 号

団体交渉 7月6日 実施!

北陸新幹線 長野新幹線運転所・飯山駅間において発生した 作業時間帯区間に列車が進入した事象に関する緊急申し入れ

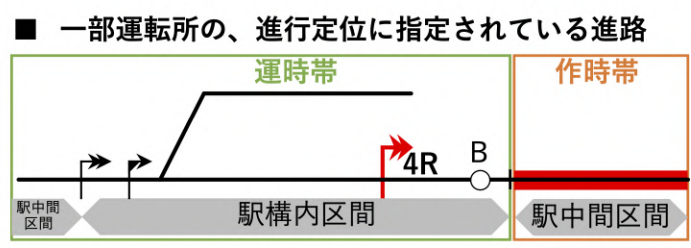
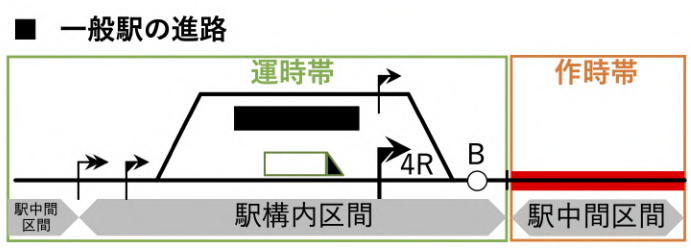
世界最高峰の 新幹線での盲点 システム依存・技術継承 の課題が鮮明に!

【事象に至るまでの経過】(概略)

- 5月31日、COSMOS-SCADA から保守作業管理システムへ、き電開始情報が送信されない可能性があることが判明したことから、それ以降、電力指令にて COSMOS-SCADA 画面の IT 操作(表示試験=リセット扱い)を実施。
- 2023年6月6日6:02、回第8881E列車長野駅停車中、輸送指令は、運行表示端末にて「長幹所 制御開始8分前の運転開始を確認せよ」の警報を知得し、長野新幹線運転所(構内除く)～飯山駅間の作業時間帯(以下、作時帯と記す)が終了していないことから、施設指令へ運転時間帯(以下、運時帯と記す)移行に伴う作業終了確認を依頼。
- 輸送指令は、長野駅停車中の回第8881E列車を抑止しようと試みたが、出発進路が構成済であったために所定発車。その後は、作時帯外に停車するはずであると考えていたため直ちに停止手配をとらず。
- 2023年6月6日6:10、長野新幹線運転所～飯山駅間が作時帯であった区間に回第8881E列車が走行。

問題点

- ・COSMOS-SCADA の不具合発生
- ・列車を止めきれない体質
- ・一部箇所にて作時帯区間があっても進行定位となるシステム連動の不備
- ・進行定位箇所が存在するシステムの成り立ち等、技術・技能伝承の脆弱性



* 一般駅の進路では、進路の前方が作時帯であれば、制御しないが、一部運転所の進行定位が指定されている進路では、自区間が作時帯から運時帯に変化すれば進路の前方が作時帯であっても制御する。

組合：新幹線システムの崩壊という重大な事象であり、徹底した原因究明を行い再発防止策を講じること。また、新幹線輸送の安全の前提は運時帯と作時帯との分離であり構造的に区分すること。

会社：作業は終了していたが、作時帯に列車が進入した事実を重く受け止めている。原因究明を引き続きあらゆる角度から行う。なお、運時帯と作時帯との分離による安全確保の考えに変わりはない。今事象を受けて進行定位箇所には輸送指令が一旦復位(信号制御)する暫定対策を講じていく。

安全の大前提を確認!!

**新幹線に係る専門知識を有したエキスパート養成は不可欠だ!
システム依存の脱却、現場力・人間力を高めていこう!**